

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

1. 沖縄こども環境大臣とは

沖縄の離島の小中学生を対象に、平成 17 年度から開始された事業。島の環境をテーマにした作文を提出した小中学生から、それぞれの島に 1 人ずつ「沖縄こども環境大臣」を選考・任命し、平成 18 年 3 月の任期終了まで、各離島の環境問題やその取組の方向性をレポートにして提出してもらうもの。こどもたちが「自分たちの島の環境を守ろう」とする意識の醸成を図り、沖縄の離島における環境保全活動の更なる活性化を図ることを目的とする。

沖縄・北方対策担当の内閣府特命担当大臣でもある小池環境大臣が沖縄の与那国島を訪れた際、地元の中学生在が書いた島のごみ問題についての作文を受け取り、作文を書いた中学生を与那国島の「沖縄こども環境大臣」に任命したことをきっかけに誕生した。

2. 沖縄こども環境大臣サミットとは

平成 17 年 7 月までに任命された合計 30 名の「沖縄こども環境大臣」が一堂に集い、各島での環境問題やその取組みについて意見交換を行うもの。

初代の大臣たちが集った今回のサミットでは、那覇市末吉公園および森の家みんなを舞台に、前半はインタープリター（自然案内人）による自然体験プログラムが、後半は「わたしたちの宝物」をテーマにしたグループ討議や、「これから島でどんな活動をしていくか」という活動宣言づくりが行われた。

3. 平成 17 年度沖縄こども環境大臣一覧

島名	学校名	学年	氏名
伊平屋島	伊平屋小学校	6	嘉納 由紀子
野甫島	野甫小学校	5	末吉 周一郎
伊是名島	伊是名中学校	3	高良 木実
伊江島	伊江小学校	6	宮原 百寧
水納島	水納小学校	4	屋富祖 涼
津堅島	津堅中学校	1	大道 詩織
久高島	久高中学校	3	内間 仙
粟国島	粟国小学校	6	仲原 奈美
渡名喜島	渡名喜中学校	2	渡口 裕二
座間味島	座間味中学校	2	上野 愛美
阿嘉島	阿嘉小学校	6	兼島 洋人
慶留間島	慶留間中学校	1	上原 航一郎
渡嘉敷島	阿波連小学校	6	川満 理奈
久米島	久米島中学校	3	與座 絵理奈
北大東島	北大東中学校	3	池原 りほの
南大東島	南大東小学校	5	奥山 晃輔
宮古島	東小学校	6	下地 真生
池間島	池間中学校	3	佐久本 沙織
大神島	大神中学校	2	根間 紗弥花
来間島	来間小学校	6	吉村 康司
伊良部島	佐良浜中学校	2	中村 慎吾
多良間島	多良間中学校	2	糸数 憲吾
石垣島	川平中学校	3	翁長 公香
竹富島	竹富中学校	2	市原 慶乃
西表島	大原中学校	2	下地 理沙
鳩間島	鳩間中学校	2	新田 祐介
小浜島	小浜中学校	3	前本 基希
黒島	黒島中学校	3	運天 翔吾
波照間島	波照間中学校	3	屋良部 りえ子
与那国島	与那国中学校	2	長尾 蓮

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

4. 開催日時

平成 17 年 10 月 16 日（日）

当初は平成 17 年 9 月 4 日（日）に予定されていたが、台風 14 号の接近に伴い、延期された。

5. 主催・共催

主催：環境省・内閣府
共催：沖縄県

6. 会場

午前（自然体験プログラム）
末吉公園（那覇市首里末吉町 1 丁目）
午後（グループ討議・活動宣言づくり）
森の家みんな（那覇市首里儀保町 4-79-8）

7. 参加者

沖縄こども環境大臣 27 名
保護者または付き添いの先生 27 名

8. 事業受託

特定非営利活動法人 ホールアース研究所
（代表理事 広瀬敏通）

9. プログラム内容

午前（9:05～9:25）

紙芝居による末吉公園の紹介

2人のインタープリターが声色を変えながら、末吉公園に住む生き物たちや森の家みんなについて解説。

参加者にとっては、今から出かける末吉公園に息づく生き物たちの世界を「体験」できたことで、自然体験プログラムに対する期待が高まったようだった。

午前（9:30～12:00）

自然体験プログラム「わたしたちの宝物探し」

参加者を 4 つのグループに分け、それぞれのグループにインタープリター（自然案内人）が 1 人ずつ入った。

那覇の都会に取り囲まれた末吉公園の貴重な自然環境を、五感を使って体験することにより、自然のおもしろさ・不思議さに気づき、島で自分たちが大切にしたい「宝物」を改めて認識することがねらい。

各グループには、3 つの共通アクティビティが用意され、チーム対抗でポイントを競い合いながら、楽しくにぎやかに、自然に遊び自然に学ぶひとときとなった。

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

草笛勝負～きみは達人に勝てるか～

どこにでもある草を指で挟んで音を出す草笛。草笛で音楽を奏でる達人に習いながら、グループ毎に何人が音を出せたかを競う。

なんでもない葉っぱでも、これだけ楽しい遊びができることを実感し、自然の楽しさを再認識するきっかけとなった。



なかなか音が出てくれないよ

ぼくの木わたしの木

(財)ネイチャーゲーム協会公認のアクティビティ。目隠しをした参加者は、視覚以外の四感をフルに活用して、樹皮や樹形を体感する。

日ごろ何気なく通り過ぎている樹にも、人間と同様それぞれに異なる特徴や性格があることに気づいたプログラム。子どもたちにとって、島の宝物がまたひとつ増えたようだ。



この木のお肌はザラザラしてるね

安謝川生き物さがし隊

末吉公園内を流れる安謝川に入り、岩陰や川の淀みに隠れているハゼやカメ・カニ・エビといった水生生物を探す。

川がない島に住んでいる子どもたちも多く、「生まれて初めて川で生き物探しをした」と大喜びだった。

街の中の公園であるがゆえに、生活排水をはじめとして人間の影響を直接受けてしまう安謝川の生き物たち。こども大臣たちとしては、楽しいだけで終わらず、島の環境を考えさせられた瞬間だったに違いない。



岩のうしろに隠れていた生き物発見！

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

午後（第1部：12:45～13:30）

グループ討議：わたしたちの宝物

会場を森の家みんなに移しての“サミット本番”。午前に引き続いて4グループに分かれ、それぞれに午前と同じインタープリターがファシリテーターとして入った。

第1部では、「わたしたちの宝物」をテーマに、それぞれが島で大切にしていきたい宝物を紹介。また、それらの宝物が今、どんな問題を抱えているのか、またその原因は何なのかについて、各島の現状を報告し合った。

こども環境大臣が挙げた宝物の第1位はやはり「海」。このほか、竹富島の「街並み」、伊良部島の「サシバ」、波照間島の「南十字星の見える星空」など、個性あふれる離島ならではの意見が並んだ。

その一方で、大臣たちがこぞって指摘したのはごみ問題。彼らは、ごみの増加が自分たちの宝物を汚している現状を目の当たりにしていた。観光客のみならず島の住人の中にも、自らが出したごみをそのまま放置する人が増えているとして、環境意識の低い人が増加していることに対して、強い危機感を感じているようだ。

問題と原因が見えてきたところで、「自分にできること」について、活発な意見交換を行う。

自然環境への意識を高めてもらうためには、こういった啓発活動が効果的なのか。「こども環境大臣」として何ができるのか。島は違えど、抱えている問題やその解決策には、共通項がたくさんある。全員が同じ目線で話し合うことで、それぞれのアイデアの幅が広がり、たくさんのヒントが誕生した時間だった。

午後（第2部：13:30～13:55）

活動宣言づくり

わずか30分足らずの時間で、大臣や知事の前で発表する30秒の「活動宣言」を仕上げなければならない。大きなプレッシャーを感じて手が止まってしまうのが通常であろうに、「こども環境大臣」たちは違っていた。

第1部でのグループ討議でたくさんの考えに触れたからか、自分たちの宝物は自分たちで守るんだという「大臣」としての信念なのか。いずれにせよ、午前中の自然体験プログラムのときに見せた子どものあどけない表情とは打って変わって、大人顔負けの真剣な眼差しで筆を進める。その文面たるや、「島の未来は明るい」と確信させるに十分たる内容であった。



それぞれの島の現状について情報交換



島は違えど抱えている問題に共通点は多い

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

午後（14:00～14:10）

小池環境大臣・稲嶺沖縄県知事 ご到着

小池百合子環境大臣・内閣府特命大臣ご挨拶

皆さん、こんにちは。（こんにちは）本物の環境大臣です。今日はこんなに、沖縄の環境大臣がずらーっと揃って、そして、皆さん、今日それぞれ初めて会うんでしょ？ねえ、なんかすごく雰囲気いいですね。やっぱり環境大臣として目的が一緒だからかな。

4ヶ月ぶりにこの沖縄にやってまいりました。この環境大臣サミット、最初は8月にやりましようと言っていたんですけど、あの時は国会のほうで郵政の台風が吹き荒れていましたので延期になってしまいました。9月は本物の台風が来てしまって延期になってしまいました。そして今日が3度目の正直で、台風を吹き飛ばして皆さんがここに集まったということです。

それぞれの島には、それぞれの特徴があると思います。自らの島をもう一度改めて見てみると、こんなに良い、素晴らしいところがあるんだなって、そういう風に思ったんじゃないですか。そしてまた、その素晴らしいところをどうやって守っていくか、っていうことを違った島のお友達、環境大臣と意見交換することによって、改めて自らを見直してみたり、そして共通の目的に向かって、どうやってその素晴らしさを守るのか、そんな意見交換ができる一日になればいいなと思っています。

「美ら島」という言葉がありますけれども、文字通り、皆さんの島は美しい島でばかりです。けど、一つ一つ見ますとごみの問題もあります。それから沖縄の島々は台風がよく来ますけれども、地球温暖化の、なんて言うんでしょうかね、影響で台風なども激しくなってくるということも考えるならば、自らでできること、たくさんあると思います。

それから自然破壊の問題もあります。最近ではアスベストの問題ということも出てきていますね。皆さんがそれぞれ、作文に書いてくれたように、ごみ問題そして自然のどうやって守るかがとても大切です。そういった作文を通じて皆さんは環境大臣として任命された訳です。

このあと、それぞれの大臣ですから、活動宣言になるんでしょうか、活動報告とそれから活動宣言を頂くということになっていると思いますけれども、今日、この美ら島のこども環境大臣サミットを通じて、皆さんの素晴らしい自然をこれから一緒に守っていくんだと、そういう思いの場になってくれれば大変嬉しく思っております。これからも今後とも環境大臣同士で、しっかりと連携を取りながら美ら島を、そしてこの素晴らしい沖縄をみんなで守ってまいりましょう。それでは今日は楽しみにしてまいりましたので、皆さんの中に入って私も一緒に環境大臣として務めを果たしていきたい、と思っております。今日は皆さんどうもありがとう。



小池大臣のご挨拶

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

稲嶺恵一沖縄県知事ご挨拶

皆さん、こんにちは。稲嶺です。小池大臣が来られるというとき、ちょうど天気予報では台風がこっちへ向かってるので心配したんですが、大臣は美人のうえにすごくエネルギーを持っておられ、とうとう台風を吹き飛ばしまして、今日のようないい日になりました。良かったですね。

私も、離島広聴ということでよく離島を回るんですけど、離島に行くとき大変感心することがあるんです。一つは子供さんたちの目が輝いている。で、よくお話を聞きますと、子供達は地域でみんな育てるって言うんです。だから輝いているんだよ、って言うんです。もう一つは難しさっていうのを感じます。それは、一つの島っていうのは、島の中で環境問題を解決、完結しなければならぬということ。外に持っていきませんから。その意味での大変難しい問題が色々あると思います。で、今日来られている皆様方も、その環境の問題について日頃から大変真剣に考えておられると思います。これからますます、重要になります。

先程、那覇市の仲田教育長さんと色々お話をしていましたら、ある学校で環境について真剣に取り組んでいたら子供達が、家に帰って親に色々こうしたらいい、ああしたらいい、って言うんです。親の考え方が全く変わって、すごくその意味ではその効果が表れているというお話をお聞きしまして、私は子供さん達の持っているパワーっていうのはすごいんだな、ってことを改めて痛感を致しました。

皆様が日頃から考えている、沖縄っていうのは島国です。小さな島がいっぱいあります。環境というものは大変重要なポイントです。どのようにしていくか、小池大臣は沖縄も担当しておられますけど、その他に、環境大臣もやっておられますね。そういう意味では、離島の問題、小さな島々

の問題、それから環境の問題と、この両方の問題の大変なエキスパートですので、是非これからも色々とお世話になって、色々教えて頂きたいと思っています。

皆さんがこの環境の問題に、積極的にこれからも取り組んで頂いて、そして素晴らしいちゅら島に向かって頑張っておられることを心から期待して私の挨拶と致します。ありがとうございました。



稲嶺知事のご挨拶



みんな真剣に聞いています

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

午後（第3部：14:10～14:30）

3人のこども環境大臣から「活動報告」

今回のサミットに出席した27人の「こども環境大臣」を代表して、3人の大臣が登場。島で何が問題となり、どんな活動を行っているのかについて、パワーポイントを駆使しながら報告を行った。その内容・まとめ方ともに、大人顔負けの堂々たる発表っぷりで、周囲からは感嘆の声があがっていた。

久米島 與座絵里奈さん

これから久米島の環境について発表します。今年の夏休み、実際に島を回って不法投棄の現場や、島の海岸線、リサイクルセンターなどの施設を見学してきました。その他に、現在学校で取り組んでいる活動について紹介します。

始めに久米島を紹介をします。久米島町は那覇市の西方約100kmの東シナ海海上に位置し、平成14年4月1日に旧具志川村と旧仲里村の合併によって誕生した新しい町です。人口は平成17年3月末現在、9330人と年々人口が減ってきています。久米島の産業はさとうきび作を中心に肉用牛、野菜類、電照菊などが生産され、他にマンゴーなどの熱帯果樹木が栽培されています。漁業は、栽培漁業や車エビの養殖に力を入れていません。観光産業も盛んです。

久米島のごみ問題について、実際に現場に行き調べてきました。学校から車で15分くらい走ったところがさとうきび畑が広がる場所です。それからその中に入っていくと、不法投棄されたタイヤや家庭から出たごみもたくさんありました。

久米島の海岸の写真です。久米島の海は綺麗だと言われていますが、砂浜にはたくさんのごみ被打ち上げられていました。ごみの種類を見てみるとプラスチックのものが多く、浮き球、ペットボ

トル、発砲スチロール、瓶、缶などがありました。漂着ごみを見てみると中国語、韓国語のものがいくつもありました。このごみは災害などで流され海流によって久米島へ流れ着くそうです。それらのほとんどが、中国や台湾などの国から流れてきます。町の対策としてはごみ捨て禁止の看板の設置があります。これはごみが捨てられている所の近くにあったもので、最近よく見かけます。その他の対策として、不法投棄されたものは出来るだけ回収し、防護ネットや看板の設置を行っています。これからは不法投棄をなくすためにさらに看板を増やし、パトロールや指導をしていきます。

平成16年に建てられたリサイクルセンターに行ってきました。自転車や扇風機、プラスチック製品、鉄くずなど小さな島からこれだけの量のごみが出ているのに、種類ごとに分けられていたが、その量の多さにびっくりしました。私はリサイクルセンターに来て、初めて島の現状を知りました。リサイクルセンターの中では、従業員の人達が空き缶、空き瓶、ペットボトル。または資源の分別の他に粗大ごみ、不燃ごみを処理していて、暑い中とても大変そうでした。空き缶はスチールとアルミに分別して金属プレス機でプレスした後、船で本島の工場へ送られます。ペットボトル、その他プラスチック容器類と分別され、ペットボトル梱包機で潰して、写真のようにまとめられ空き缶と同じように送られます。市内にある新しくできた最終処分場は、平成16年7月に完成しました。そこでは焼却処分した後の残った灰や、不燃ごみ、粗大ごみ、その他をまとめて処理しています。捨てられてごみは完全には処理出来ないで残ってしまい、最終的には埋めるしかないのです。

ここからは私が通っている久米島中学校の取り組みを紹介します。久米島中学校は全校生徒60人の小さな学校ですが、みんなで協力して活動しています。毎朝7:30から8:00まで私達の住む地域を5つに分けて清掃しています。以前は草む

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

らなどに空き缶やごみなどが捨てられていましたが、最近は少なくなってきました。それは生徒一人一人がごみのポイ捨てに対する意識が変わってきたことと、地域の人達も協力してごみを減らそうとしてきているからだと思います。この活動は月1回、第1土曜日に行っているもので、久米島一周道路の清掃や海岸のごみ拾いなどを行っています。この活動を通して地域だけではなく、久米島全体に友情の輪を広げていきたいと思っています。

久米島中学校では1日に約75枚の牛乳パックが出ます。その数は1年間で約15,000枚にもなり、これをトイレトーパーに再利用すると約750個になります。15,000枚の牛乳パックを作るには、樹齢20年~30年の木、3本を使うのです。牛乳パックを再利用すると、この木を3本守ることに繋がります。牛乳パックのリサイクル状況は、掲示物を作成し視覚的に訴えるようにしています。学校でできるもの以外にも家庭からできる牛乳パックも回収していて、始めは少なかったものの、物がだんだん増えてきています。空き缶、空き瓶は清掃ボランティアの時に拾ったものや、家庭からごみとしてできるものを持ってきてもらっています。去年に比べて今年は家庭からの回収率が高く、生徒の意識が変わってきています。集めた空き缶、空き瓶は換金してもらい、学校に行けない世界の子供達を支援するドクタープランに募金しています。森林伐採や熱帯雨林の破壊を防ぐため、箱ティッシュの使用をやめて1人1個ずつポケットティッシュやハンカチを持つことになりました。この活動によって、ティッシュを使う量を減らしました。

久米島の環境問題について調べて思ったことは、私が想像していた以上にごみの量が多かったことです。しかし久米島町民のごみに対する意識は低く、ごみの分別や出し方についても考える必要があります。ごみを減らす活動として私が進めたいのは学校の清掃活動です。ごみを拾ってき

いにするだけではなく、自分達のごみに対する意識を変えていくのが地域の人達とも関わりを持つことによって、久米島のごみ問題を一緒に考えていって欲しいです。これで発表を終わります。ありがとうございました。



最終処分場のごみの山



ごみがなければ最高の海岸なのに



こどもたちの行動力はすごい！

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

宮古島 下地真生さん

これから活動報告を始めます。宮古島の地下水を守るために。宮古島市立東小学校6年シモジ マキ。私が住む宮古島は豊かな地下水に恵まれていて、水道水の全てが地下水でまかなわれています。しかし、ごみのポイ捨てや車の放置、家電製品の不法投棄が見られます。その他、畜産排水の処理がまだきちんとされていないところがあると聞きました。これらの上に雨が降り、これらを溶かし込んだ雨水が私達の飲む地下水へと流れていきます。その結果、地下、地下水は汚染されてしまいます。

水道水がずっと安全でおいしい水であるためには、地下水を汚さないように努力することが必要です。まず、地下水のしくみについて調べました。宮古島は珊瑚礁が盛り上がりできた島で、島全体が水を通しやすい琉球石灰岩と粘土質の島尻層できています。石灰岩はスポンジのように穴が開いているので、水が通りやすく、その下にある島尻層の上に雨水が溜まります。宮古島では年間平均で約 2200 ミリの雨が降ります。地表に降った雨の 50%は蒸発し、10%は地表から海へ流れ出てしまいます。そして、40%が地下へ流れて地下水となります。宮古島には川がなく、全ての水は地下水を利用しています。私達が毎日使う水道水は地下水を汲み上げて使用しています。水道水源地として指定されている3箇所の人1日平均給水量は約 432 リットルだそうです。

地下水汚染の原因にはごみのポイ捨てや不法投棄、畜産排水、化学肥料、生活排水などがあります。私達の毎日の生活の中に地下水汚染の原因がたくさんあることが分かります。

次に、自分ができることの一つとして、ごみ拾い活動を行いました。東小学校周辺、自宅周辺を7回、パイナガマビーチとシナヤマビーチを1回です。自宅周辺や東小学校周辺では、お菓子の袋や空き缶、ペットボトル。ビーチではタバコの吸

殻や花火の残骸などがとても多かったです。宮古島はきれいな海が自慢ですが沢山のごみが落ちていて、だんだん汚れてしまうのではないかととても心配になりました。宮古島は地下水を守る為に、これからもごみ拾いを頑張っていきたいと思います。また、みんながごみを捨てない、落とさないように気を付けることが大切だと思います。

これは友達を誘ってごみ拾い活動をした時の写真です。私が住む宮古島は、今は地下水が豊富で水道水は自然でおいしい水ですが、この先もずっと安全でおいしい水であり続けるとは限りません。これからもずっと、ずっと安全でおいしい水を飲む為に、私達一人一人が自分に出来ることを努力し、環境を大切にしていかなければいけません。私は、友達や近所の人達、出来るだけ多くの人に声を掛け、ごみ拾いを頑張っていきたいと思います。これで私の報告を終わります。



友だちを誘っての清掃活動

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

与那国島 長尾蓮くん

これから与那国島の状況について発表させていただきます。まず、与那国島のごみの状況の写真をご覧ください。これは与那国島のごみ捨て場の入口の写真です。もう少しすればいっぱい状況です。次の写真はごみ捨て場全体の写真です。ごみで溢れかえり、とても大変な状況になっています。次の写真は炊飯器がそのまま放置されています。与那国島でのごみ、環境への意識の無さが分かります。それに対し僕達は子ども会で活動しています。まず1つめは空き缶潰しをしています。アルミは柔らかいので手で潰し、スチールは硬いので機械を使い潰します。その他にはごみ捨て場の入口に看板を設置しておく、看板を設置して奥に捨てるようにしました。4つほどありましたが、台風などで壊れ、今ではこの看板1つになりました。学校では牛乳パックなどをリサイクルしています。

そして次は、与那国町のごみ問題の対策について発表します。まず1つめは、ごみ回収処分場を作ろうとしていて、既に着工しています。2つめはリサイクルセンターを、3つめは污水处理施設を作ろうとしています。総事業費約12億円、完成予定は2006年末までに完成して、遅くとも2007年4月までに工場開始となっています。

次に最終処分場について発表します。埋立面積3,000平方メートルで、処分地は容積は11,000立方メートルです。耐用年数は約20年といわれています。関係者の話では、「最終処分場や焼却処分場がないとどうしようもない。空き缶やペットボトルを島外に出しているが、ごみ問題に対する真剣な対応が必要。最終処分場が出来たら徹底した収集と分別が課題となる」と言っていました。

次に、住民の資源ごみ回収を発表させていただきます。まず、種別割合はアルミ40%、スチール30%、ペットボトル20%、瓶10%です。1日あたり住民

資源ごみ排出量は推測値で430本といわれ、年間あたりでは156,950本にも上ります。これは1日あたり1人の住民が0.2本排出していることになります。

最後に、この与那国の状況を調べての感想を発表します。今回、色々な与那国島のごみの状況を見てとてもびっくりしました。一番びっくりしたことは、ごみ捨て場が前より広がっていてもう入口のところまでいっぱい、今すぐにどうにかしなければなりません。そこで最終処分場施設などが完成すれば、より一層の分別が求められます。すぐにでもやらないと元の与那国島に戻ってしまうので、みんなで協力してより良い与那国島を作っていかなければならないと思いました。ここで与那国島の状況の発表を終わります。

・与那国島のゴミの状況・



・子供会での活動・



様々な活動が展開されています

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

小池大臣・稲嶺知事よりご講評

小池百合子環境大臣・内閣府特命大臣

3人の大臣の皆さん、ご苦労様でした。極めてわかりやすくまとめてもらった報告だと思いません。共通していたのはごみの問題ではないかなと思います。宮古の水の問題も、ごみを通して、そして地下水が汚染されるということで共通するのではないかな、と思います。

やっぱり、離島というのはごみ、いろんな製品がくるけれども、そこから今度ごみとして出すときのコストとか考えたら、そこで何とか処理しなくちゃいけないということが一番大きな問題点ですよね。その意味では皆さんが、ごみの問題に何とか対応していかなければならないという、まずはその意識を持つことが極めて重要だと思います。そして皆さんがこのごみ問題に対して、こども環境大臣としてしっかりと今報告があったような事を毎日やっていただくことです、大人の皆さんがこれは協力しなくちゃ、ということになって、そうすると結果として島全体のごみ問題が大きく動き出すことになるのではないかな、と思っています。それこそがこども環境大臣の大きな役割だと思っています。

こども環境大臣について考えてみますと、初めは長尾君です。最初にね、与那国に行った時にごみ捨て場に行ったんですよ。本当にひどい状況だったのが、あれもう入口までいっぱいになっているの？与那国に行ったのは確か今年の2月ですよ。もういっぱいですか。発表のなかで、何か予算要求みたいなものが出てましたよね。いくら最終処分場を作っても、まずはみんながごみを減らすという意識を持たないとね。いつの間にか与那国島その全体が最終処分場みたいになっては困りますよね。

ですから是非、これからこども環境大臣として、多分共通の問題だと思いますので、まずごみを減らしましょう。ごみを出さないライフスタ

イルはどんなことが考えられるのか、それを皆さん共通の課題としてまた持ち帰って更にそれぞれの島で頑張って努力して良い結果を出して頂きたい、と思っています。

あともう1点、付け加えさせて下さい。最初に久米島の與座絵里奈大臣からご報告あった漂着ごみですけどね。これは島の皆さんの努力を越えて、向こうから勝手に来ちゃうでしょう。実は次の週末、私は韓国のソウルに行くんです。日本と中国と韓国の3人の大臣が1年に1回会って地域の環境問題の事を話し合う会議をしているんですね。この漂着ごみの問題というのはずっとテーマでお願いをしています。ですから、沖縄こども環境大臣からもこういう提案・課題が述べられたということを改めて中国と韓国の大臣の方にお伝えしておきます。台湾の方にもお伝えをしておきたいという風に思っています。

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

稲嶺恵一沖縄県知事

それでは私の方から一言。さすがこども環境大臣に選ばれた方は大したものだな、というのがまず最初の感想です。それから色んな事を考えさせられました。どんどん、どんどん私達は豊かになっております。豊かになると何が起こるかっていうと、必ずごみが増えてるんですね。何ものなければごみってのは出ないんです。物が余れば余るほど、増えれば増えるほどごみが増えてくるんです。これからもそういう状況にあるということです。

それから今、話を頂いた久米島、宮古。例えば久米島は楽天のキャンプがあつたりして、ますます人気が出て今、観光客が順調に増えてるっていうのはあります。それと与那国は Dr.コトーが全国的に有名ですし、あるいは海底遺跡ということで、ますます観光客が増えてます。宮古も増えてますね。そうするとどうゆう事かと言うと、さらに皆様方が出したごみの他にも観光客の皆様が出されるごみが更に増えてくる、ということが言えると思うんです。そして、先程大臣からもお話ございましたけれども、1つの島っていうのは島の中でこれを完結しなければいけないという、お金も特に非常にコストが高いですから、その意味ではますます島の皆様方のしっかりしたごみに対する意識というのを持って頂かないとならないことがあると思います。その意味で皆様方が今回発表されたように、具体的にごみをどのように減らすのか、これは意識の問題だと随分違ってきます。そして、子供さん達が逆に率先してそういうものに取り組むことによって、大人も一緒になってやはり取り組む。むしろ気が付いて取り組むという形がすると思います。

是非、今の運動を、積極的に皆様方も推進して下さい。これは県としても各市町村としても、積極的にそういうものに対して今後とも、ますます努力していきます。県の担当部長が来ていますの

で、ちょっと手を挙げて下さい。このおじさんがうまくやっていますから。という事ですね、皆様と一緒にこれから頑張って美ら島にしていきたいと思います。

一つだけお話しすると、宮古は先程の説明のように水が地下水ですから大変大事な問題なんです。昨年、宮古農林高校のチームが、ストックホルムで行われたストックホルム水の大賞という、これはよく水のノーベル賞と言われますけど、これで宮古農林の3人の子供達がこの素晴らしい説明を致しましてね、英語でパーフェクトの説明をして、世界一の大賞を取ってきました。いかに宮古っていうのは水の大事かってことを、宮古の多くの皆様方が認識しておられると思います。水の問題っていうのは宮古だけの問題ではないと思います。やはりどこも沖縄は狭い島ですから、是非皆様もこの自然環境を守ったり、これからも努力して頂きたいと思います。今までのこのコツコツ、コツコツと進められている大変良い成果を更に活かして下さい。ありがとうございます。

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

午後（第4部：14:30～14:50）

こども環境大臣による「活動宣言」

大臣・知事のご入室前に完成させていた活動宣言。びっしりと書き込まれた手元のメモをたよりに、こども環境大臣全員が、チーム毎に大臣・知事の横に並び、保護者や付き添いの先生・取材のマスコミに向かって「宣言」を行った。中には、取材に来ていたRBC（琉球文化放送）を名指して、「これは僕とRBCの活動宣言だ」と言い切る大臣も現れ、こども環境大臣たちが持つパワーに、大人が圧倒される様相を呈した。

翁長公香さん：石垣島こども環境大臣

私の守りたいものは石垣島の海の魚や珊瑚です。その理由は、未来にずっと残して人間の心の支えになって欲しいからです。その為に私は海に行っておみを見つけたら拾って持って帰ったりしたいと思います。

中村慎吾くん：伊良部島こども環境大臣

僕はサシバを守りたいです。サシバは今は減ってきているが、これからはたくさん増えて欲しい。その為に僕は自然を増やしてサシバが沢山来れるような環境を作りたいです。

上原航一郎くん：慶留間島こども環境大臣

僕が守りたいのは海です。海には最近、ごみが流れてきて汚くなってきているので昔のようなきれいな海を取り戻したいです。その為に私はごみを拾うボランティア活動を呼びかけて、少しずつでも落ちているごみを減らしていきたいです。

嘉納由紀子さん：伊平屋島こども環境大臣

私が守りたいものは伊平屋島のきれいな海です。その理由は魚がいっぱいいるきれいな海であって欲しいからです。その為には私はごみ拾いをしたいと思います。

奥山晃輔くん：南大東島こども環境大臣

守りたいものは島のきれいな自然です。この自然が減らないように島の人達とごみ拾い活動などを増やしていきたいです。僕は自然を大切にしながら自然を増やしていきたいです。

前本基希くん：小浜島こども環境大臣

僕の守りたいものは森林です。今、小浜では観光地化が進み、そのせいで確実に自然が減っているので、リゾートホテル、ゴルフ場建設前のような緑豊かな状態の自然を取り戻したいです。その為には、地元沖縄の人に小浜の現状を知ってもらうためRBC琉球放送を通して報道してもらいます。その報道を見た視聴者から募金活動や署名活動を繰り広げる。これは僕とRBCの活動宣言です。

上野愛美さん：座間味島こども環境大臣

私が守りたいものは座間味島の珊瑚です。珊瑚を食料とするオニヒトデが多くなり、珊瑚が食べられているからです。その為に私は少しずつでもオニヒトデのことを調べ、オニヒトデを減らしていきたいです。

運天翔吾くん：黒島こども環境大臣

僕の大切にしている場所は、港の横にある砂浜です。僕が小学生だった頃は一番利用していた海岸があったからです。ですが、最近港を拡大するという理由で港の工事が行われています。なので、もうこれ以上、砂浜や美しい海がなくならないように僕らはこの砂浜や海をこわすのが勿体ないくらいきれいにしていきたいと思います。また、あとお二人も黒島にお越し下さい。

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

根間紗弥花さん：大神島こども環境大臣

私大神島で一番守りたいものは、大神島の一番てっぺんにある遠見台です。宮古島本島ととってもきれいな海が見渡せる遠見台が私にとって大好きです。ずっときれいなままであって欲しいと思っています。今は山へ行くまでの道がごみなどで汚れているので、そこがきれいになれば観光客や地元の人達も山へ行くまでの景色も楽しめると思うから、山へ行くまでの道も景色も変わってほしくないと思います。だから、私を含めて地域全体で取り組めることとして、ごみ拾いや看板の設置などがあると思います。それを進めていきたいと思っています。

渡口裕二くん：渡名喜島こども環境大臣

僕が島で守りたいものは砂浜です。今後はごみ一つも落ちていないきれいな砂浜になって欲しいです。今は外国からのごみや流木が多くて、とてもきれいとは言えません。だから僕達は月に1回、川の掃除をしています。これからはこの活動を継続して、出来れば休日などを利用して生徒だけでなく、地域の人もごみ拾いに参加してくれたらいいと思います。

糸数憲吾くん：多良間島こども環境大臣

僕は多良間島で守りたいものは砂浜です。砂浜を守りたい理由は多良間島で一番好きな場所だからです。僕は今後、多良間島の砂浜は今よりも少きれいになって欲しいです。その理由は漂流物などのごみが多いからです。僕は今後、島の人達と協力したりして砂浜のごみ拾いをしていきたいと思っています。

宮原百寧さん：伊江島こども環境大臣

私が伊江島で守りたいものはきれいな海です。でも今は北海岸に外国からのごみが沢山あります。そのごみがなくなってきれいな海になって欲しいです。だからごみ拾いをしたり、学校とか子供会でやるごみ拾いも頑張って続けていきたいです。

屋良部りえ子さん：波照間島こども環境大臣

私が波照間島で守りたいものはきれいな星空です。波照間島は南十字星が見える島として、この星空にはたくさんの星が見えとてもきれいです。でも、今はきれいだけどこれから島が発展していくと、それが壊れていくのではないかと心配です。でもこれからも今も、今のままで、またそれ以上にきれいであって欲しいと思っています。その為に私達が出来るとは友達や家族、身近な人に声掛けをし協力してもらったり、また自分自身でも電気を大切にしていくことや、それぞれが大切にしたいと思うことで波照間島の星空を守っていきけるのではないかと考えています。

池原りほのさん：北大東島こども環境大臣

私が北大東島で一番守りたいものは海です。海を守りたい理由は、最近、観光客がポイ捨てをして、そのごみがたくさん海に浮いているのを見たからです。今後はごみ一つもないきれいな海を目指していきたいです。その為に、小学校から続けているごみ拾いをしたり、ポスター作りなどをして地域の人に声を掛けていきたいと思っています。

長尾蓮くん：与那国島こども環境大臣

僕が与那国島で守りたいものは海の景色です。与那国の海はとても美しく、毎日のように島の人や観光客の人が泳いだりしています。しかし、その景色は観光客などによって壊されています。海のごみの中の大部分は観光客によるごみで、それはごみを海に投げてそのまま帰っていくというものです。景色を見るために与那国島に来た観光客が、景色を壊して帰っていくのはちょっとおかしいと思います。そのごみは子供会の人で拾い、少しずつ減ってきていますがまだ多いです。そこでごみをなくすために、看板やポスターなどを設置するといいです。ただ設置するのではなく、目立つ所に置いたり、目立つ色を使うなどのことをやっていきたいです。

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

そして、今あまり効果がない看板は学校のみなの協力を得て、目立った色を使いたいです。

大道詩織さん：津堅島こども環境大臣

私が守っていききたいものは、津堅島の海を守っていききたいと思います。津堅の海は生き物が沢山いてきれいな所です。ですが、一部の海には漂流してきたごみや人間の捨てたごみなどがたまっていて、海ガメは好物のクラゲと間違えて食べてしまって死んだりして、今はいなくなりました。それで、私が出来そうなことは、まずごみを見つけたら拾ったり、また自分からごみを出さないことです。そして島の人にも今の津堅の状態を知ってもらって、皆で協力してごみをなくしていききたいです。

仲原奈美さん：粟国島こども環境大臣

私達が住んでいる粟国島は塩が有名だけど、粟国島に観光に来た人や島に住んでいる人が海を汚してきているので、せっかくの有名な海が汚くなるのはちょっと嫌なので、月に1回授業でごみを取りに行きたいです。それと、校内放送で児童会や生徒会が相談してくれるといいです。

末吉周一郎くん：野甫島こども環境大臣

野甫島の海岸を守りたいです。魚も沢山いてきれいな所です。だけど最近ごみが増えてきています。なので、学校やみんなで少しずつ拾ってきれいにしていきたいです。

吉村康司くん：来間島こども環境大臣

僕が来間島で守りたいものは海の景色です。だけど、釣り人達、釣りの人はタバコを吸い終わったら道端などにすぐにポイと捨てます。他にもまだ使える重り、釣り針なども捨ててあります。それをなくすためには、例えば、来間大橋に看板を目立つ所に置き、色が悪かったり場所の悪い看板を学校のみならず、地域の人に、人

がよく通る場所に移してもらってみんなにアピールしていききたいです。

市原慶乃さん：竹富島こども環境大臣

私は竹富島の町並みと海の景色を守っていききたいです。しかし、竹富島は観光客が多く訪ねるのでごみが道や海などでもよく落ちています。また人の見つからないような所にも落ちています。私が島に帰って出来ることは、今回の自然探索で学んだ自然の楽しさと、自然がなくなるとどうなるかを考えて伝えていききたいです。

佐久本沙織さん：池間島こども環境大臣

池間島で守りたいのは池間島の海です。池間島は周りが海で囲まれているので観光客もよく来たりします。しかしその海にもいくつか問題点があります。島外や外国のごみが多く漂着していたり、島の人や観光客がごみを捨てています。あとは生き物が減ってきていたり、濁っていて汚いところもあつたりします。あとは砂浜にレジンペレットというプラスチックの原料があつたりします。私はまず、個人の意識改革をする必要があると思います。そこで漂着ごみを学校や地域を通して拾ったり、そのごみがなぜ捨ててはいけないのかなどを私達から訴えたいと思います。一応みんなはごみを捨てることはいけない事だと分かっていると思うので、身近なところから取り組む必要があると思います。



堂々とした宣言っぷり

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

與座絵理奈さん：久米島こども環境大臣

私は久米島の海を守りたいと思います。今、自然にごみが捨てられ問題となっていますが、海には外国やその他から流れてくるごみもあります。海岸を見ると砂浜に沢山のごみが落ちていて、島の自慢できる景色が失われています。だから私は友達や周りの人達に協力してもらって、久米島の海岸をきれいにしていきます。それだけではなく、インターネットなども使って外国の人達に投稿したりして、みんなできれいな海をつくりたいです。

兼島洋人くん：阿嘉島こども環境大臣

僕が守りたいものは阿嘉島のきれいな海と珊瑚です。今の阿嘉島の海は、昔のようにきれいな海もちょっとずつ減っています。珊瑚が全然ない浜もあり、昔のような阿嘉島の海が嘘のようです。今の海は汚れきっていて、きれいに出来ない浜もあります。でも逆に考えれば、これ以上汚れないようにすることは出来るので、僕は阿嘉の環境大臣として島の人達と一緒に阿嘉の海をこれ以上汚さないようにしたいです。

内間仙くん：久高島こども環境大臣

守りたいものは久高島のきれいな海です。僕達の海は砂浜がある所が何箇所かあります。とてもとてもきれいに見えるけど、よく見るとあちらこちらに落ちています。みんなでその砂浜を清掃して、昔のようなごみが全然落ちていなかった白い砂浜になって欲しいと僕は考えていますが、なかなか出来ません。そこで僕が考えたことはまず、仲の良い友達を集めてその友達と一緒にポスター作りや島の人に呼びかけなどをして、僕達だけでやるのではなく島の人みんなで協力して、砂浜や汚れているところを清掃したいです。

新田祐介くん：鳩間島こども環境大臣

僕は鳩間島の海と砂浜を守りたいです。今の鳩間島の海にはたまに外国語が書かれているゴ

ミが浮かんでいて、砂浜には外国や近くの島からきたごみらしきものがあります。鳩間島の海は砂浜がいつもきれいであってほしいです。だからまずごみ拾いをして、次に外国の人に鳩間島の現状を手紙に書いてごみを捨てないように呼びかけてほしいです。そして、世界中の人達に鳩間島の海や砂浜の素晴らしさを知ってもらいながら、鳩間島をきれいにしたいです。

下地真生さん：宮古島こども環境大臣

宮古島の地下水を守りたいです。今は地下水が安全でおいしい水ですが、この先もずっと安全でおいしい水とは限りません。ですから、私はこれからも安全でおいしい水を飲みたいと思います。私は水が飲めなければ生きていけません。なので、宮古島の安全でおいしい地下水を守るために友達や近所の人、出来るだけ多くの人達に呼び掛けてこれからもごみ拾いを頑張りしたいと思います。そしてごみ拾いを通して、地下水の大切さとみんなが協力することが大切だということを伝えていきたいと思っています。

下地理沙さん：西表島こども環境大臣

私が守りたいのは西表島の森林、特にマングローブなどを守っていきたくと思っています。私が通うすぐ側にある仲間川にはたくさんのマングローブが生息しています。マングローブは今、観光客が増加し遊覧船が通るたびに壊れてきています。私はその問題について大きなことは出来ないと思いますが、この問題を解決するにはまず私自身「知る」ということが重要だと思います。森林の重要性を知り、人々にそれを伝え、森林の大切さを分かってもらいたい。そのような、納得のいくような説明が出来る知識を持たらいいな、と思っています。その為には森林を知り、人を知り、世界を知っていかたいです。そして私が守りたいマングローブを未来へ残していけるような対策を考えていきたいです。

沖縄子ども環境大臣サミット 事業報告書

以下の3人の子ども環境大臣は、10月16日のサミットに出席できなかったため、11月26日(土)に沖縄こどもの国にて開催された「2005年度おきなわアジェンダ 21 県民環境フェア」に参加。10月同様に、自分たちの宝物や島が抱えている問題について、情報・意見交換を行い、活動宣言づくりを行った。

屋富祖涼くん：水納島子ども環境大臣

自分の守りたいものは、海の生き物です。その生き物は、魚です。なぜ魚を守りたいかと言うと、去年よりごみが増えて魚が死んでいっているからです。なぜごみが増えているかと言うと、観光客の人がごみを捨てていってしまうからです。

そこで僕は、ボランティア活動をしてごみを減らしていきます。でも島の人がごみのことを知らずに捨てていってしまい、今水納島はごみが多くなって手がつけられなくなっています。今ごみを減らしたいという思いをもっていくことが大切だと思います。1人1人の思いで違ってくると思います。

僕は放送で呼びかけて、みんなでごみを拾うのが大好きで、これからもごみ拾いをしたいと思います。皆さん、どうかごみを捨てないでください。

川満理奈さん：渡嘉敷島子ども環境大臣

私は、海のサンゴを守りたいと思います。たくさんあってきれいだからです。今、渡嘉敷島ではオニヒトデが増えてサンゴがオニヒトデに食べられて減ってきています。

島の人たちがごみを捨てて海が汚くなっているので、これから、みんなでごみ拾いなどの活動をしていきたいです。みんなでごみ拾いをしていくために、私は地域の人たちに放送や看板を作って呼びかけをしたいと思います。

高良木実さん：伊是名島子ども環境大臣

私が守りたいものは、海です。その中でも私は海ガメに興味があります。毎年、島には海ガメが産卵に来ていて、1回だけ孵化するのを見たことがあって、とても可愛かったからです。でも、人間の捨てたビニール等のごみが影響で、たくさんのカメ達が死んでいると、よく見たり聞いたりしています。

伊是名島でも、ごみが増えつつあります。流れてきたりもするけど、やっぱり一番多いのは、島の人が捨てているごみです。例えば貝の殻をビニールに入れて、浜に捨てたりしています。それが溜まっていて、今とても海が汚れています。島の人の意識が低いと思います。

だから私は、まず島の人々の環境への意識を高めるために、ごみの写真や海の生き物の写真を載せたチラシを作成して、人が多い場所などに掲示して、島の現状を知ってもらって、村民がごみを捨てないような意識作りをしていきたいです。



未来の子ども環境大臣といっしょに

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書



笑顔は余裕の証？



大臣から大臣への活動宣言



自分が愛する島の未来に向けて

小池大臣・稲嶺知事よりご講評

小池百合子環境大臣・内閣府特命大臣

守っていききたいもの。そしてそれはどうやって守っていくか。それぞれが島の現状、そして将来を見据えての発表だったと思います。それぞれこども環境大臣としての自覚を持って、しっかりと島の皆さん達にメッセージを届けて、そしてみんなで島の美しさ、環境を守っていくんだという運動をこれからますます広げていって頂きたいと思います。

そしてまた、学校などお勉強の方もしっかり環境大臣と併せて続けていって頂きたいと思っております。

また、次の島の環境大臣にどういう人がなるのかわかりませんが、子どもたち、1年ずつね、環境大臣続けていって下さいね。ですから、皆さんが初代こども環境大臣ということになるかと思いますが、次の任期までしっかり頑張ってくださいと思います。

稲嶺恵一沖縄県知事

私は、小池大臣がこども環境大臣のしくみを作ったことがすごいことだな、と今思いました。というのは、皆さん一人一人が大変な責任感と、大臣としての誇りを持ってお話をされました。大変感動的でした。是非、皆さんもその自然を大事にする気持ち、そして環境を守る気持ち、それを輪をどんどん、どんどん皆様の周りに広めて下さい。その小さな輪がやがて大きな輪になって、各地区で素晴らしい環境に対する大きな動きとなることを期待しております。ありがとうございました。

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

午後（第4部：15:00～15:15）

小池大臣・稲嶺知事より記念品の授与

初代こども環境大臣への就任とサミット開催を記念して、小池大臣よりマイバッグに入った記念品（成美堂出版『野外遊び Book』・漫湖水鳥湿地センター下敷き）が、稲嶺知事より「こども環境大臣」のタスキが、1人ずつに手渡された。子どもたちは大臣・知事とそれぞれ固い握手を交わし、任命されたことへの喜びと、無事に活動宣言を成し遂げた安堵感に包まれていた。



大臣の横でちょっと緊張気味

小池百合子環境大臣・内閣府特命大臣

私からこども環境大臣の皆さんに差し上げますのは、まずマイバッグ。今「もったいないバッグ」と名付けています。この絵のデザインは「愛・地球博」記念に公募したもので、徳島県の中学生在が描いた絵になっています。ちなみに1年間に家庭からごみとして出されるレジ袋ってあるでしょう。家庭からごみとして出されるレジ袋は年間60万トンにもなるんですね。これは家庭のごみの6.7%にも当たります。お買い物に行く時にはこうやって自分で「もったいないバッグ」を持ってレジ袋を使わないようにしましょうと、いうことも私たちが普段の生活でできることの1つです。

それから『野外遊びブック』。皆さんほんとに、東京の子どもたちと比べれば、自然の中で住んでいるのはそれ自体が素晴らしいことですね。その中でもっともっと楽しい遊びも考えていただくためのヒントです。それから下敷きも差し上げます。ということで、この3点セットを私から環境大臣の皆さんに差し上げたいと思います。



喜びをひしひしと噛みしめて

沖縄こども環境大臣サミット 事業報告書

午後（第4部：15:20）

記念写真の撮影



初代「こども環境大臣」そろい踏み



大臣同士のつながりも大切にしたいね



大臣・知事を拍手と笑顔でお見送り